

「こだわりを生かす」



樋田千史教育委員

恵那市教育委員の職を拝命して、教育委員会の方々とその仕事について触れる機会が与えられました。また、教育現場の先生方や各学校の運営状況などにも散見できる場も与えられました。教員職を退いてから、数年がたちますが、現職のころは何にこだわっていたのか思い出されることがあります。

★その1

15年程前に自宅を改築した時のことです。部屋の間取りや壁の色、襖などいろいろ考えながら設計したのですが、いざ作業が始まっていくと、廊下の板張りが違っていたり、ドアを開く方向が反対であったり、鴨居が逆になったりしていて願いは異なった状況ができました。そこで関係者さんに「あなたたちは一生に何軒も

家を建てるかもしれないが、私たちにとっては、かけがえのない一軒なのです。ちゃんとやってほしい」と話しました。教育現場の職員に対してこの話をし、昨年や以前と同じ学年、役職に携わったとしても、目の前の子どもたちにとって、先生は大事な一生に一人の先生であることを肝に銘じ、手を抜くことなく教員の仕事に精進してほしい。

★その2

これは受け入れだったのですが、大きな出来事が起きてしまうのは、その前に少なからずの要因があるということです。一つ重大な事故の背後には、29の軽微な事故があり、その背景には300の異常が存在するという法則です。（「ハインリッヒの法則」と呼ばれています）1（大事）対29（中事）対300（小事）。

日常生活の中で子どもや保護者への対応のミスが生じる時があります、また、授業に対する構えに誠実味が萎えてしまう時などがあります。たとえ些細なことであっても、それが積み重なっていけば、やがて、大きなミスにつながっていくということです。誰でも失敗したり、精神的に滅入ってしまったりする時があります。しかし、それらを直視して、対応策を練り、決して連鎖をしないという心構えと行動が大事であるということ。

これらのこだわりをわが身に言い聞かせて教育委員職を全うしていきたいと思っています。

時代の宝物

（岩村町本通り重要伝統的建造物群保存地区）

今、朝の連続ドラマで何かと話題になっているスポットですが、この町並みは、異なる時代に形成された特異な面を持っています。

中央に枡形を配した東側（岩村城側）は、江戸時代に建設された町並みで、軒の低い^{うしろ}厨子二階と呼ばれる家が並ぶ職人町と町人町でした。枡形から西側（岩村駅側）は、江戸期後半から明治39年の岩村電気軌道の開通に伴って徐々に広がった町並みです。そのため、家の屋根が枡形より東側の町並みは比較的低く、西側の家は高くなっている光景を見ることができます。



新町側から見た明治期の町並みが残る風景

このような2つの時代の町並みが、景観を損なわずほどよく調和して残っていることが国に評価され、平成10年に全国で48番目の重要伝統的建造物群保存地区として選定されています。

そんなことを頭に入れて、五平もちを食べながら先人の残した町並みを散策してみてください。何か面白い発見があるかもしれません。（生涯学習課）

30年度教育委員会の取り組み

教育総務課

- ・ 恵那南地区中学校再編の方針確認
- ・ 恵那南高校支援事業の推進
- ・ 恵那東中学校大規模改造工事の実施
- ・ 食物アレルギー対応に関する運営管理
- ・ 学校給食における危機管理マニュアルの見直し

学校教育課

- ・ 全小中学校のコミュニティスクール化の推進
- ・ 全小中学校に導入した無線 LAN とタブレット端末の日常的な活用
- ・ 学力向上
- ・ いじめの未然防止と早期発見・早期対応・早期解決の促進
- ・ 集団不適応児童生徒の減少

スポーツ課

- ・ まきがね公園運動施設の改修
- ・ 笠置峡ポート・カヌー出艘場等準備
- ・ 恵那市「運動プログラム」の実施
- ・ ウォーキング大会の開催
- ・ スケート場の振興・活性化への取り組み

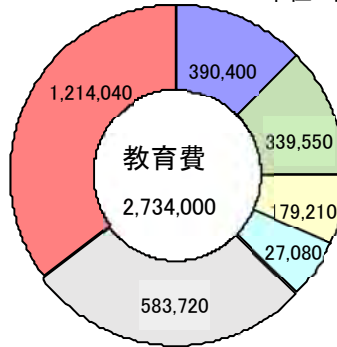
生涯学習課

- ・ 岩村城跡の買受した国有林エリアの整備活用計画の策定
- ・ 明治天皇大井行在所の整備活用方法の検討
- ・ 恵那三学塾の充実
- ・ 先人学習・先人顕彰事業の推進
- ・ コミュニティセンターにおける三学運動推進体制の確立

恵那文化センター・中央図書館

- ・ (公財)恵那市文化振興会の組織体制強化
- ・ 文化センター大ホール天井及びエレベーターの耐震化工事の実施
- ・ 第3次子ども読書活動推進計画策定
- ・ 市民による読書のまちづくり
- ・ 図書館の効果的活用

単位:千円



- 教育総務費
- 小学校費
- 中学校費
- 幼稚園費
- 社会教育費
- 保健体育費

幼児教育課関係民生費 2,096,018

明知鉄道とウォーキングを開催

(スポーツ課)

市では、市民の皆さんが健やかで心豊かに暮らすことができることを願い健幸都市宣言を行いました。

スポーツ課では、その取り組みの一つとして市民のウォーキングを推奨しています。ウォーキングは健康にいいことばかりです。効率的に脂肪を燃焼させダイエット・メタボ改善に効果的で、生活習慣病の予防と改善が期待されます。

市内には、ウォーキング愛好者がそれぞれ特色ある企画でウ

ォーキングを楽しんでみえます。健幸都市宣言を契機に、スポーツ課でも平成 29 年度から、スポーツツーリズムと健康づくりを目的に、明知鉄道を利用した距離のあるウォーキング大会を始めました。

平成 29 年度は、明知鉄道ウォーキング「集え！健脚ウォーカーたち！」と名打って、野志駅に集合し東海自然歩道などを経由して山岡駅までの約 14 kmを歩きました。また、ファミリー向けとして、このコースをショートカットした約6kmのコースも設定し、初冬の山里を両コースで 130 人ほど歩き、心地よい汗を流しました。

平成 30 年度は、11 月 18 日の日曜日に開催を予定しています。コースは明知鉄道飯羽間駅を出発し、岩村駅まで地域の歴史的な名所を巡るコースを設定する予定です。皆さんもぜひ参加して健康的な汗を流しましょう。



平成29年度の野志駅の様子